

# 住友大阪セメントについて



## 住友大阪セメント株式会社

### 会社概要

**本社所在地** 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル20F  
**創立** 1907年（明治40年）11月29日  
**従業員数** 単体1,312人／連結2,952人（2025年3月末時点）  
**売上** 単体1,768億円／連結2,195億円（2024年度）

### 事業内容



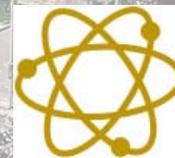
セメント



鉱産品



建材



光電子



新材料

セメント関連事業

高機能品事業

## 磯焼けとは

- ・季節的・経年変化の範囲を超えて、藻場が衰退・消失すること
- ・ウニや植食性魚類の他、高水温や貧栄養など、海域ごとに原因が異なる

磯焼け原因から藻場を守り、広げる



水産庁「磯焼け対策ガイドライン」より引用  
ウニによる磯焼け(左, 中央), 植食性魚類による磯焼け(右)

# 住友大阪セメントの磯焼け対策事業

## 磯焼け対策事業

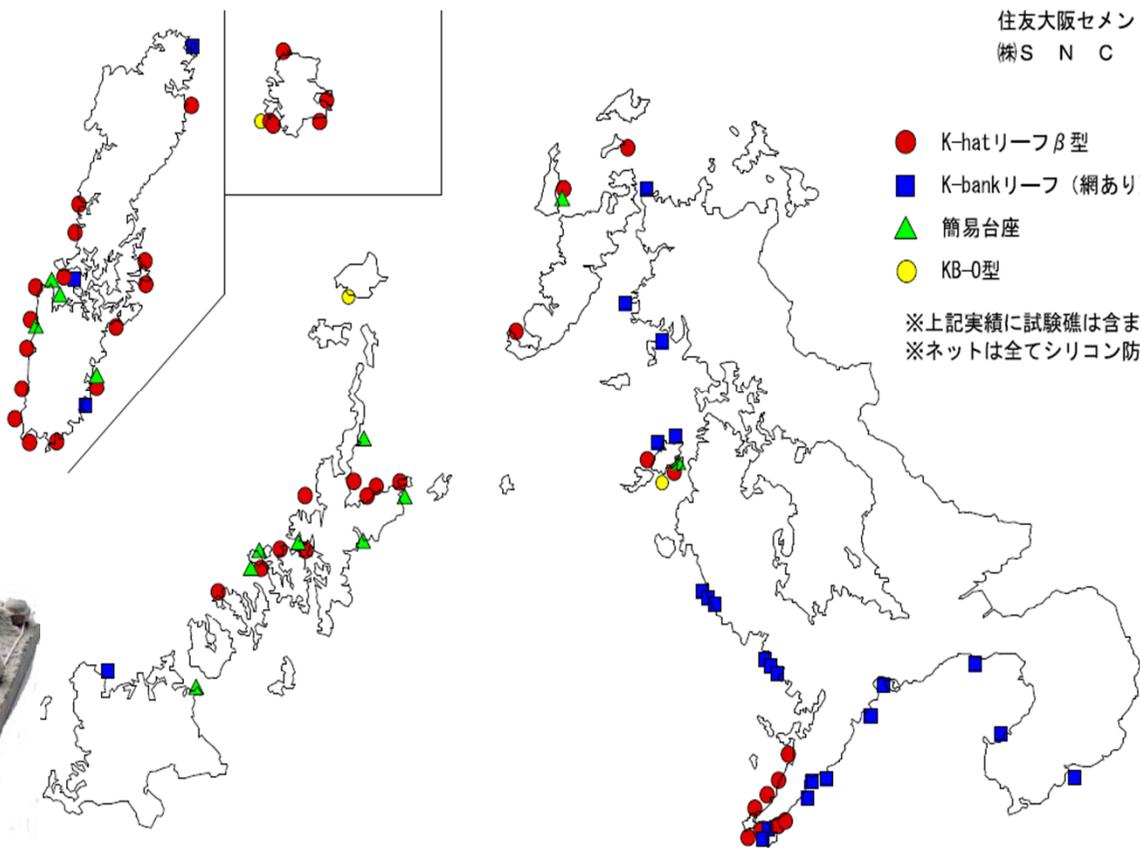
➤ 独自の磯焼け対策商品を開発・事業展開  
(2002~)

- ・魚礁製品
- ・藻場礁製品
- ・海藻プレート etc...

➤ 長崎県内を中心に  
4,000基以上の藻場増殖礁、  
30万枚以上の藻場増殖プレートを販売



食害防止ネット付藻場増殖礁設置実績



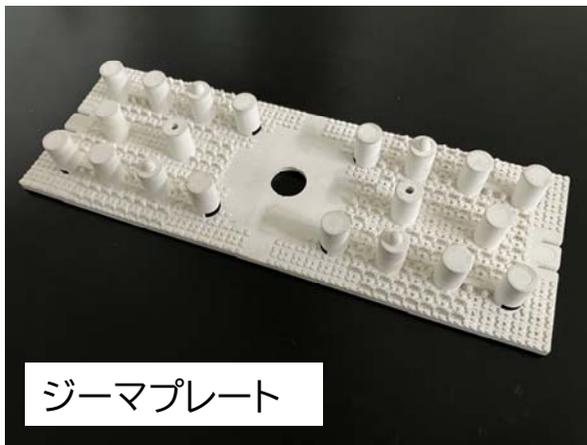
令和5年1月末日現在

住友大阪セメント㈱  
㈱S N C

# 住友大阪セメント 磯焼け対策の手法

## 特長1

着脱可能な軽量プレート



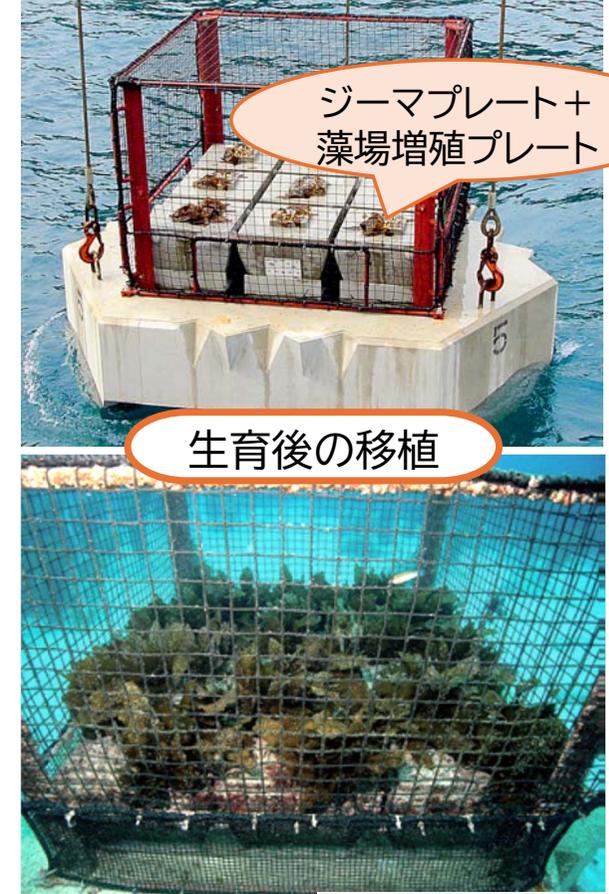
## 特長2

効率的な光合成の促進



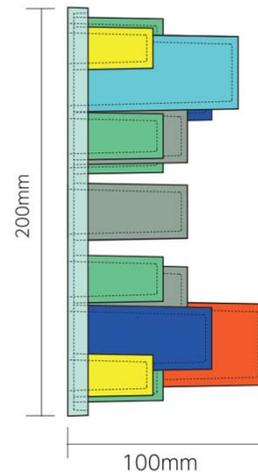
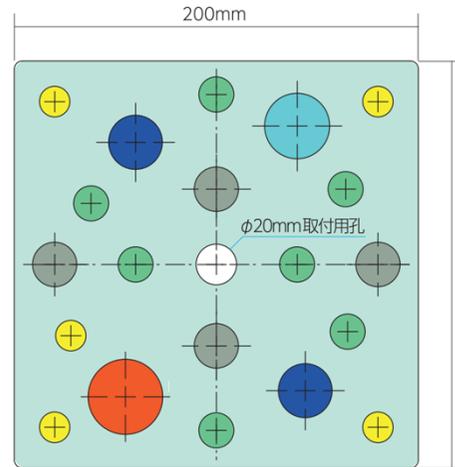
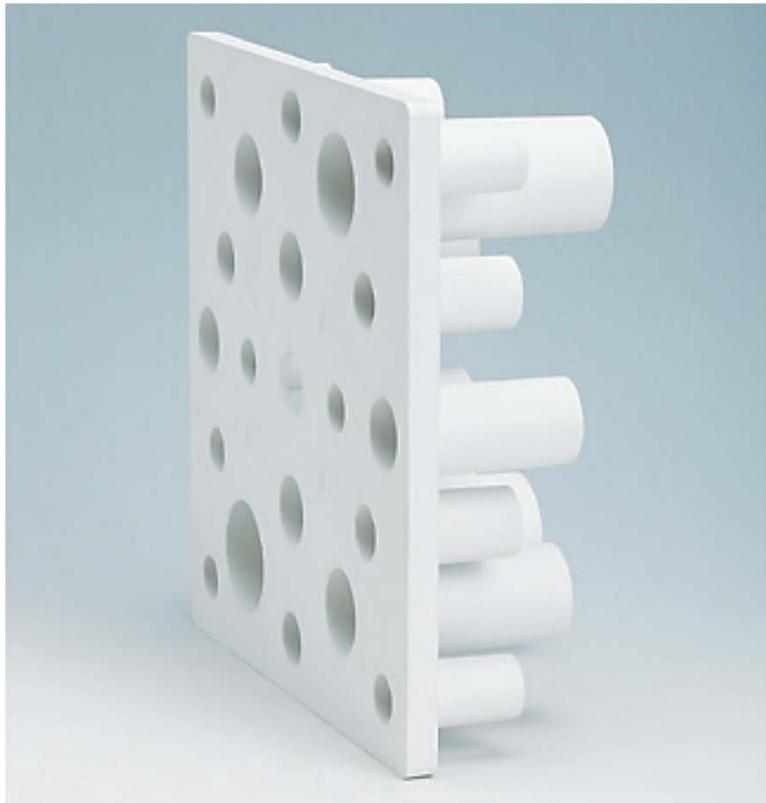
## 特長3

確実な核藻場造成



# 住友大阪セメント 磯焼け対策オプション

## エビクルハウス



- イセエビ保育用特殊プレート
- 沖合から沿岸に戻った稚エビの生活の場
- 稚エビが体長に合った孔を好む習性を活かし  
様々な口径・深さの孔を備える



# 住友大阪セメント 最先端の藻場増殖礁

SOC  
Vision  
2035



もばおう  
**藻場王**  
— ブルーカーボン対応多機能型藻場増殖礁 —

従来製品をベースとして

環境負荷を低減

海藻増殖機能を強化



 住友大阪セメント

# 住友大阪セメント 最先端の藻場増殖礁

①基台コンクリートに低炭素コンクリートを適用

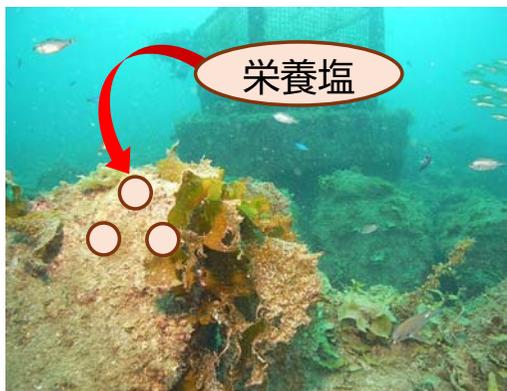


②藻場増殖プレートに海洋生分解性素材を適用



マイクロプラスチック回避

③栄養塩供給機能を搭載可能



④水中ドローンでのメンテナンス・藻場観察技術導入



人力でのネット交換作業



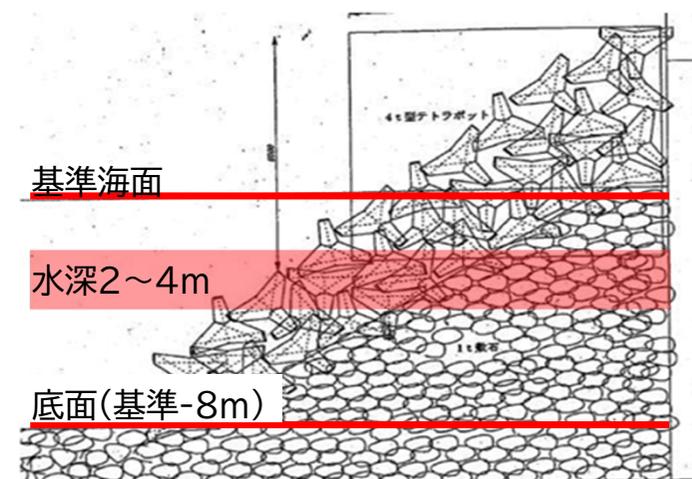
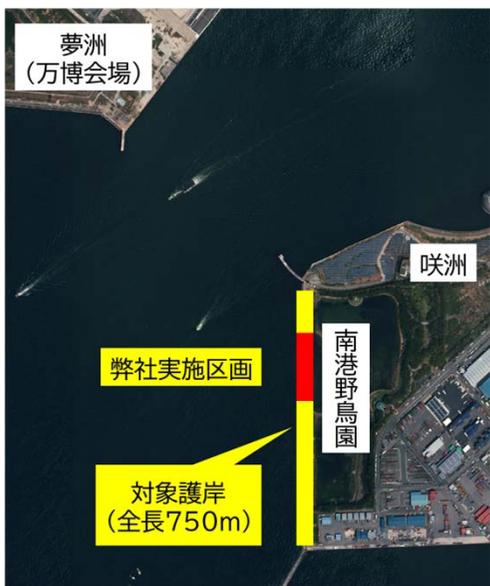
水中ドローンによる省力化・効率化

# 大阪府万博会場周辺海域ブルーカーボン生態系創出事業補助金

## 事業概要

- ・大阪府が推進する「大阪湾MOBAリンク構想」に関わる取組の1つ
- ・万博会場対岸の、咲洲西護岸にて藻場の創出に取り組む
- ・消波ブロックへ海藻着生基質及びワカメの種糸を設置し、3年間のモニタリング実施

藻場の被度 25~50%以上を目指す



消波ブロックの設置状況 (左図の拡大)

# 新たな取組

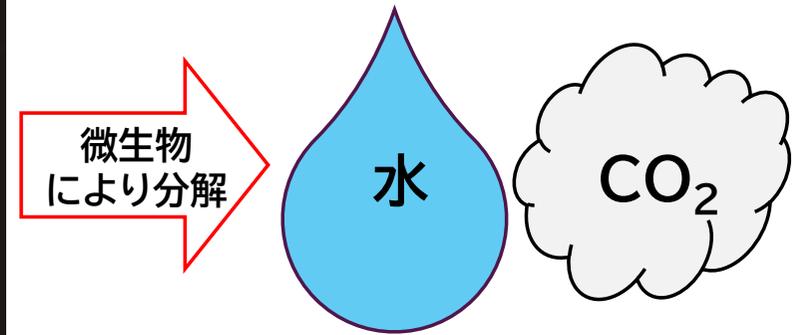
## チャレンジ 海洋生分解性素材の利用



天然由来 生分解性  
着脱式藻場増殖プレート



天然由来  
生分解性種糸

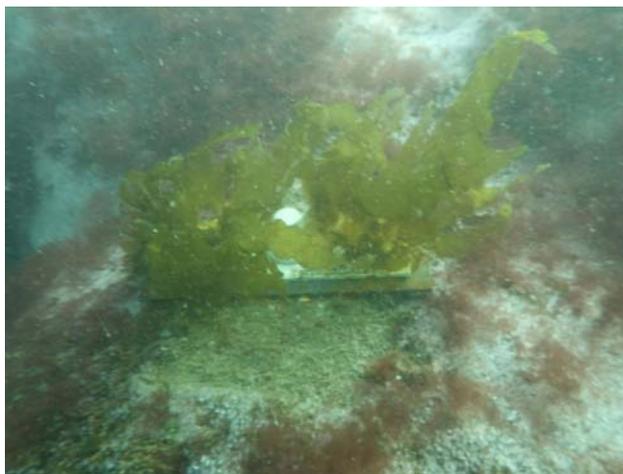
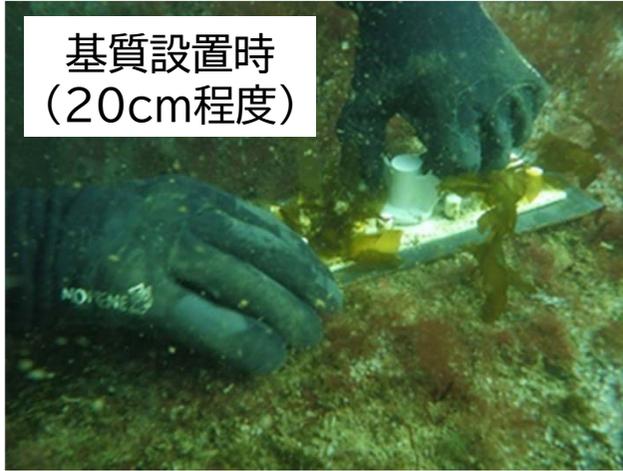


**環境負荷低減**

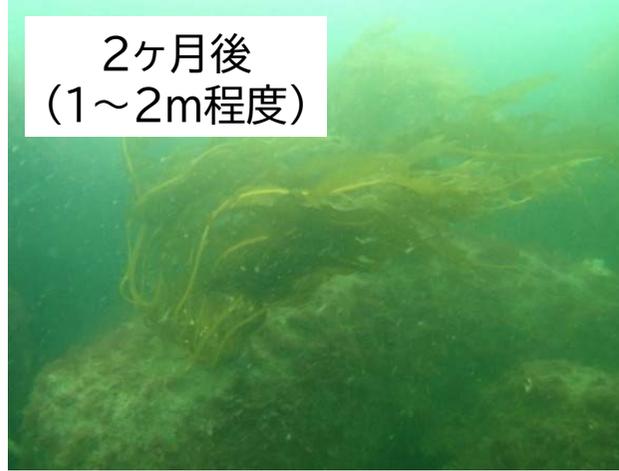
# 藻場造成結果

## 成育状況

基質設置時  
(20cm程度)



2ヶ月後  
(1~2m程度)



4ヶ月後  
(1.5~2m程度)

